

福祉住環境コーディネーターとは？

福祉住環境コーディネーターとは、高齢者や障がい者に対し、できるだけいきいきと生活できる住環境を提案するアドバイザーです。

医療・福祉・建築について体系的に幅広い知識を身に付け、各種の専門家と連携をとりながらクライアントに適切な住宅改修プランを提示します。

福祉住環境コーディネーター2級の資格を取得して



営業担当：加賀盛彦

いつも大変お世話になっております。

昨年の6月に入社して以来、皆様方には様々なあたたかいご支援を頂き、深く感謝申し上げます。皆様とお仕事をさせて頂くにあたり日々勉強、勉強、勉強だと痛感しております。

その「勉強」ですが、昨年の11月、東京商工会議所実施の「福祉住環境コーディネーター検定2級」を取得する事ができました。受験までの学習と、日々の業務での経験が重なり、良い結果になったのではないかと思います。

福祉住環境コーディネーターの理念である、「医療・福祉・建築」についての知識を身に付け、各種の専門家と連携を取りながら適切な住宅プランを提案する事は我々の仕事であり、役割です。その理念は弊社の理念である「福祉・環境・耐震リフォーム」を融合させ、様々な視点から生活する人に適切な次世代リフォームをご提案するに通じ、社員一同心がけております。

住み慣れたご自宅で安心して生活して頂くために、ケアマネジャーの皆様をはじめ、様々な専門職の方々と連携を図っていく中で、我々は福祉用具と住宅改修の知識を深め、住環境整備を行い、サービスの質の向上に努めていかなくてはならないと考えております。

皆様が抱えている悩みや問題に対して、いつも最善は何かと考えていけるように、また、一つでも多くのお役に立てるよう努力して参りますので、今後ともご指導のほど宜しくお願い致します。



ケアマネかわら版

第22号

介護ショップ 創研

山形市美畑町13番14号

TEL023-634-2001

FAX023-634-2002

平成31年3月発行

山形医療技術専門学校の41名の

生徒さんを迎え企業見学実習を行いました

2018年11月19日(月)

昨年に引き続いて、山形医療技術専門学校・教育部作業療法学科41名の生徒の皆さんを迎え、福祉機器・施設見学実習の開催に協力させていただきました。

生徒さんは、学校の授業で耳にしている、実物に触れ、体験するのは初めてのようで、実習中はノートを片手にメモを取り、屋内外の住環境整備という視点での説明に熱心に耳を傾けておりました。今後の高齢者福祉の発展につながっていくと共に、将来優秀な作業療法士に成長している姿が垣間見れた一日となりました。



山形医療技術専門学校の武田先生より

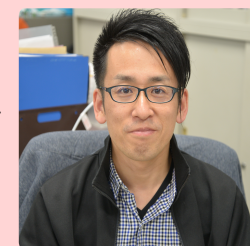


昨年に引き続いて、本校作業療法学科2年生41人が「生活機器・環境学」授業の一環として、創研様のショールームにお邪魔させていただき、直接福祉用具に触れる、体験する機会をいただきました。

福祉用具には主に利用者様の自立支援と、介助者の介助量軽減支援の2つの目的があり、ともに利用者の日常生活をよりすくすくするために導入するものであると考えられています。利用者本人の心身機能や生活環境整備への働きかけをするために福祉用具の選択があります。利用者との心身機能と能力、福祉用具の性能、生活環境(家屋状況、生活習慣、家族構成、社会資源)などを多角的に利用し、必要な支援の質と量を満たすことが出来るように選ぶ必要があります。

私達、作業療法士は利用者を生活上問題となる動作、疾患の理解や予後、社会資源を含めた生活環境を把握し、利用者の能力を引き出すための福祉用具、環境整備をフィッティングする役割があると考えます。地域ケア会議等を通じて、他職種の方々とつながりを深めていき、意見交換、情報を共有し、利用者のより良い生活のための一助となれるように、今後も活動していきたいと思っております。

今後も、創研様をはじめとする業者様と一緒に地域を盛り上げていきたいと思っております。今回は誠にありがとうございました。



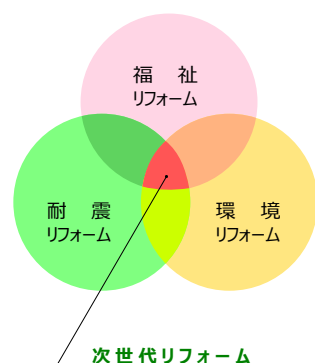
武田祐児先生

学生さんに伺いました

印象に残った福祉用具は何でしたか？

・階段昇降機	18名	・手すり	9名
・車椅子	15名	・杖	8名
・車椅子昇降機	12名	・歩行器	7名
・ラップポン	11名	・ベッド	2名

教科書で見ただけだった福祉用具に触れる・試乗する事ができて良かったという感想が多かったようです。(複数回答でご回答いただきました)



株式会社 創研
http://souken1992.com/Mail_souken@bb-town.jp
 〒990-2493 山形市美畑町13番14号
 TEL: 023-634-2000 FAX: 023-634-2002 (共通)
 山辺営業所 山辺町大字大寺798-4
 介護ショップ 創研 TEL: 023-634-2001
 次世代リフォーム館 営業時間9:30~18:00 定休 水曜日
 次世代リフォーム館 ☎0120-135-888



CareTEX2019 (ケアテックス) に行って参りました

ケアテックスは介護業界最大級の展示会です。

2019年2月6日(水)～2月7日(木)
東京ビックサイトにて

2月の6、7日に東京ビックサイトで開催されたケアテックスに行き参りました。ケアテックスは、介護用品はもとより、高齢者向けの設備・サービスが一堂に集まる専門展示会です。弊社では介護業界の動向や今後の見通しを探るために第1回目より足を運んでおります。3日間で約5万人が来場、出展数は550社でした。最も目を引いたのは、AIの導入と見守りシステム等の進歩でした。また、会場で行われていた5つのセミナーも受講して参りました。今後、皆様にご紹介していきたいと思っております。

福祉事業部部長 布川 義博



ケアテックス会場



講習会の様子

山辺町

熊沢公民館「老人憩いの会」に伺いました

2019年1月27日(日)



熊沢公民館にて

先日、山辺町の熊沢公民館で行われた「老人憩いの会」に伺いました。福祉用具専門相談員・福祉住環境コーディネーターの資格保有の立場から、介護保険の手続きと福祉用具についてお話をさせて頂きました。皆様大変お元気で、いきいきと会に参加しておられましたが、「いざという時の為に、とても大切な話だった」と真剣に耳を傾けて下さいました。

今後は、介護が必要になったときにお手伝いをするだけでなく、介護予防のためにできる事を多くの皆様にお伝えしたいと思います。

福祉事業部部長 布川 義博

2月の 社内勉強会

「知識の向上とより良いご提案をする為に」



社内勉強会の様子

弊社では、社員の知識の向上と情報の共有を図る為、定期的に社内勉強会を行っています。

今回は、資格保有者が増員になったため改めて福祉住環境コーディネーターの役割について勉強しました。在宅介護が多くなっている中、住宅整備が非常に重要です。我々有資格者として何を求められているのか、又、どのような提案をしていけば良いのかを話し合いました。

資格の定義が再認識でき、創研としてどのようにご利用者のニーズに答えるか、社内での共通認識を持つことができました。

勉強会を受け感じたこと・今後の心がけ

多くのご利用者様のお宅で、「住環境の整備が必要なことは分かっているけれど、どうしたら良いか分からない」というお声を頂きます。ご利用者様とご家族様にとって、住環境整備はまだ充分ではなく、それぞれの状況や抱えている問題は様々です。

私は福祉住環境コーディネーターの立場から、他の専門職の方々よりご意見を頂き1人1人に合ったプランをご提案するよう心がけております。今後も、住み慣れた住まい・地域で、安心・安全に生活できるようお手伝いして参ります。

福祉事業部 岡崎 勝広

私が福祉住環境福祉コーディネーターの資格を取得してから5年経ちますが、その間様々な住宅にお伺いしてきました。

ご利用者様、ご家族様のご意思を尊重し、医療・福祉・建築の観点から見た見解を総合的にまとめ、提案しなければなりません。

「よりよい生活とは何か」という視点で住宅改修に関わることを大切にしています。

福祉用具や住宅改修の新商品、各種補助金の情報も取り入れ、住環境の改善に少しでも貢献できるように取り組んでいきたいと思っております。

福祉事業部 小松 由佳

福祉関連スタッフ紹介

いつも大変お世話になっております。
「次世代リフォームのご提案」を皆様にご提供できるよう
努めて参ります。
よろしくお願いいたします。



高橋 正志(課長)
二級建築施工管理技士



岡崎 勝広(営業)
福祉住環境コーディネーター
福祉用具専門相談員



小松 由佳(営業)
福祉住環境コーディネーター
福祉用具専門相談員
福祉用具プランナー



加賀 盛彦(営業)
福祉住環境コーディネーター
福祉用具専門相談員



遠藤 瑠実(業務)

新入社員紹介

皆川 美咲希(営業)
介護福祉士
福祉住環境コーディネーター



今年の2月に入社しました。
以前は介護福祉士として施設の方に勤めておりました。前職の経験と住環境コーディネーター(2級)の知識を活かし、ご利用者様、ご家族様に寄り添ったご提案を行えるように努力して参ります。
よろしくお願いいたします。